Kashiwazaki Area International Association News

(公財)柏崎地域国際化協会ニュース

第31号
March 2019
編集・発行/(公財)柏崎地域国際化協会　新潟県柏崎市東本町1-3-24市民プラザ2F
（監修/柏崎市産業振興部商業観光課）　TEL&FAX0257-32-1477　E-mail:kaia2006@kisnet.or.jp

ゆ び さ し 会 話 帳

昨年度から多文化共生ボランティア人材育成事業に、（公財）新潟県国際交流協会の国際化推進活動助成金を活用しながら取り組んでいます。通訳や翻訳、講師をボランティアの皆さんに体験していただくインターンシップ、日本語支援のための講座などを実施してまいりました。

来柏された外国人の方や日本語に困っていらっしゃる方と市民をつなぐ「ゆびさし会話帳」を作成しました。昨年度末から「どんな形で作っていこうか」という意見交換会から翻訳体験まで多くの方々からご協力をいただきました。言語文化サポーター（ボラティア）の皆さん、当協会との協働という形で作成され、市内外からも大変多くの反響をいただいております。

また、新たにセルビア語、タイ語、中国語（繁体字）、モンテネグロ語をプラスしたゆびさし会話帳を発行します。当協会が企画制作協力した、レストラン編・ホテル編・お店編が柏崎市インバウンド推進協議会から発行されます。

言語文化サポーターが翻訳を担当。レイアウトや内容は2018年1月に開催したイベント「ゆびさし会話帳を作ろう」に来ていただいた方々にご意見をいただきました。

完成を記念して、お披露目会と言語文化サポーターの交流会を行いました。

「学びから実践の場へ」

（公財）柏崎地域国際化協会　理事長　新野　良子

『国際化協会』というとどんなイメージをお持ちでしょうか。

当協会は今年、1996年の『柏崎地域国際化協会』発足から23年目、公益財団法人として8年目を迎えます。活動の目的は発足当初から一貫して「多文化共生の地域、あたたかな人づくりを目指して地域の国際関連事業を通じ相互理解の心を育み、国際社会に貢献すること」としています。しかし、具体的活動は少しずつ変化しており華やかなイメージから、より日々の生活に根ざした広がりを持ちつつあります。

昨今オリンピックやパラリンピック、インバウンド、外国人労働者の34万5千人の受け入れなどの単語がよく聞かれます。

このことは遠いどこかの地域の話ではなく、すでに私達の身近な生活に影響し始めております。当協会は個人会員及び団体会員の皆様にも支えられ、〈多文化理解講座〉と称する色々な国の文化を通じ互いに理解し合う講座や、〈おしゃべりサロン〉と称する言語の実践の場の提供、〈言語文化サポーター登録〉で地域貢献のチャンスを提供しております。この他、生活相談や日本語教室などで外国人の方々の生活支援を通じ、それらに関わる人材育成も行なっているところです。

これまでは個人のスキルアップの場を多く提供してきましたが、いよいよそのお力を地域のために活かしていただく協働の時がきたようです。小さな活動の中から楽しさを見いだし地域貢献の輪が広がっていくことを願っています。お気軽にお声がけください、お待ちしています。

■協会賛助会員登録数･個人97人　団体32社　■外国籍住民数･総数914人･男360人･女554人（柏崎市2019年1月末現在）

ボランティア

おしゃべりサロン

せっかく身に着けた外国語を話すチャンスを、柏崎での普段の生活の中で見つけるのは、なかなか難しいもの。ボランティア活動に向けたモチベーションの向上、語学力の維持、を目的として、英語、中国語それぞれが母語のボランティアに協力していただき、自由に話す「おしゃべりサロン」を月1回のペースで開催しました。「気軽に参加」もコンセプトの一つ。当協会の雰囲気を知っていただくのにうってつけのサロンです。2019年度も継続して開催しますので、耳を慣らして、会話の雰囲気を味わいたい方は、お気軽にご参加ください。

言語文化サポーター　インターンシップ

語学を身に着けても、通訳や翻訳はそれぞれ技術、マナーなど身に着けておくことが多くあります。また、通訳や翻訳をする分野の背景を調査し、言葉を理解しておくこともとても重要になります。こうしたことからも、なにより経験が重要になってくるのです。

言語文化サポーターの経験値をあげていくことを念頭に、観光、水球など市内外の事業での通訳、資料の翻訳、多文化理解講座の講師体験など様々な分野でインターンシップを行いました。

言語文化サポーターにレシピ翻訳の体験をしていただきました。

「ゆびさし会話帳を使ってみよう」

完成したゆびさし会話帳を使って、外国出身の言語文化サポーターに旅行者に扮してもらい、道案内の練習などを行いました。

英語、韓国語、中国語、ベトナム語、モンゴル語が飛び交い、国際色豊かな充実した講座となりました。

古切手や外国コインの収集

特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会の「ステナイ生活」へ古切手、書き損じはがきなど、公益財団法人日本ユニセフ協会へは外国コイン、それぞれの収集をとおして協力しています。当協会では皆様に国際協力を身近に感じていただきたく、この2団体への協力を行っています。

昨年7月に取りまとめたものをそれぞれお送りしました。シャプラニール様からは、総額12,841円の寄付になったとご報告をいただいております。また、日本ユニセフ協会様からもお礼状をいただきました。

市民プラザ2階の事務局カウンターにボックスを用意しておりますので、ぜひご協力をお願いします。

当協会にお持ちいただけるもの

- 古切手、切手、書き損じはがき、使用済プリンタトナー、テレフォンカード等カード類
- 外国コイン（現在流通しているもの）

●特定非営利活動法人 シャプラニール

南アジアの国々で児童労働問題、災害支援、難民支援などで活動をされている団体です。

本部は東京にあり、「ステナイ生活」として不用品を換金し、活動資金にされています。

●公益財団法人 日本ユニセフ協会

ユニセフ（国連児童基金）の広報活動、募金活動などを担っている団体です。

2018年度活動報告

料理教室

9月「ジャマイカ料理教室」

ジャマイカ出身の講師から「フェスティバル（コーンミールの揚げパン）」「エスカベッシュドフィッシュ（白身魚の南蛮漬け風）」を一緒に作りながら教えていたただきました。

2月「中国家庭料理教室」

中国出身の講師から水餃子とあんこの春巻の作り方を教えていただきました。当日は丁寧に、小麦粉から作る餃子の皮の作り方を一人一人に教えていただき、充実した内容となりました。

多文化理解講座

8月 小学生サマースクール「えいごでスタンプラリー」

毎年、小学生を対象に開催しているサマースクール。今年は、英語で道案内をするには?をテーマに開催しました。スタンプラリーやゲームを通して、「まっすぐ行く」「右へまがる」などを英語で表現する練習をしました。みんなワクワクドキドキしながら英語で話しました。

10月「アジアを知る!」～田中角栄元首相の外交力～

新潟工科大学判澤純太教授を講師にお迎えし、開催しました。生誕100年を迎えた田中角栄元首相。どのように日中国交回復の道を切り開いたのか、　その外交力を国際政治学の観点からお話を伺いました。その当時の中国情勢がよくわかりました。

日本語支援者のための講座

10月「多文化社会を支える日本語教室」

敬和学園大学有田佳代子特任准教授から新潟県にいる外国出身の方々の現状、日本語能力、必要な支援、支援するときの心得などについて教えて頂きました。地域の日本語教室は大きな役割があります。ことばの壁、文化の壁を乗り越えるために地域の日本語教室は彼らを支えています。やさしい日本語で伝える練習もさせていただきました。また、便利な支援ツールも教えて頂きました。目からウロコの内容でした。

日本文化理解講座

11月「茶 道」

外国出身の方を対象に「茶道体験」を行いました。実際にいただくだけでなく、お茶をたてる、茶道の歴史まで、理解しやすいようご説明いただきました。当日は、言語文化サポーターに通訳サポートに入っていただきました。ことばを違う国の文化に合わせて置きかえることの難しさを知りました、と口々に良い体験だったとの感想をいただきました。

人材育成講座

6月「多文化社会にいきる」

多文化社会として知られるオーストラリア。香港出身で、オーストラリア育ちという講師をお迎えし、現地の紹介および柏崎で多文化共生を進めていくにはどうしたらよいかワークショップ形式で話し合いました。

7月「日本語とボランティアの力」

柏崎の防災、特に豪雨被害について日本語支援ボランティアとともに外国出身の言語文化サポーターが、新聞やテレビで目にするむずかしい防災用語を実際に翻訳する訓練を行いました。

がんばっています！　柏崎人

ミア　アダモスキー さん
（アメリカ合衆国サウスカロライナ州出身）

Q1.いつ、そしてどれくらい　柏崎に滞在していましたか?
私は、ALT（外国語指導助手）として2013年から2016年までの3年間柏崎に住んでいました。
Q2.その後、どう過ごされていましたか?
アメリカに戻り、国際関係論を学ぶためフレッチャースクール（編集部注:全米屈指の国際関係専門の大学院）に入学しました。昨年の夏に修了し、研究と日本語の勉強のため日本に戻り、横浜に住んでいます。とても忙しくしていますが、今すぐにでも新潟を訪れたいです!
Q3.柏崎の思い出はどんなものがありますか?
柏崎の人々や同僚の先生方、生徒たちがとても親切だったこと、そして柏崎の自然の美しさ、特に日本海の美しさです。
もちろん、柏崎の花火は一番のハイライトでした。そして米山登山も違う季節に何回か楽しみました。頂上からの素晴らしい景色はこれからもきっと忘れることはないでしょう。
Q4.将来の夢は何ですか?
日本とアメリカの関係をより強くしていくための仕事をしていきたいのと、世界平和に貢献していくことです。
Q5.柏崎のみなさんにメッセージをお願いします。
親切そしておもてなしの心で接してくださり本当にありがとうございました。私はいつも柏崎を自分のふるさとのように感じています!

団体賛助会員（2019年1月末現在）

―― 協会への日頃のご支援とご協力に感謝いたします ――

We would like to thank the following sponsors for their continued support.

㈱新野屋
㈲イシグロ
おぎた小児科医院
(一社)柏崎観光協会
(一社)柏崎市刈羽郡医師会
柏崎信用金庫
(一社)柏崎青年会議所
柏崎トルコ友好協会
柏崎日本海ライオンズクラブ
柏崎農業協同組合
柏崎米山ライオンズクラブ
柏崎ライオンズクラブ
北日本エンジニアリング㈱
キムラ塗装工業㈱
栗林電気管理事務所
㈱小林文英堂
サンワーズ㈱
シモダ産業㈱
㈱創風システム
大高建設㈱
中越砂販売㈲
中華美食館
東北工業㈱
中村石油㈱
新潟工科大学
新潟産業大学
二幸産業㈱
㈲ハイマートグリーン
㈱ホソヤマ
㈱ブルボン
刈羽村
柏崎市

（敬称略・順不同）

2019年度（公財）柏崎地域国際化協会会員募集中

多文化共生の地域・心あたたかな人づくりをめざし、地域の国際関連事業をより一層充実させていきます。多くのご参加をお待ちしております。参加すると利用できる会員特典もあります。みなさまのご支援、ご協力をお願いいたします。

◆ご入会（継続）方法

新規にご入会

入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局へお申込みください。会費を事務局へ直接お持ちいただくか、口座振込もご利用いただけます。（入会申込書は事務局にあります。または、ご連絡いただければ申込書等資料を郵送いたします。）

前年度よりご継続

前年度団体賛助会員の方にはご案内を郵送いたします。会費の納入またはお振込をもちまして、継続入会とさせていただきます。

◆会員になるとこのような特典があります！

●当協会主催講座参加費の優待割引　●卓上国旗の貸出　●通訳・翻訳サービスの利用（規定あり）など

◆会費について

1. **個人賛助会員…年額１口**　1,000円（何口でもご加入いただけます）
2. **団体賛助会員…年額１口**　10,000円（何口でもご加入いただけます）

◇期間は、入会月より、次の3月31日までです。

◇振込口座　〇柏崎信用金庫　本店　普通　0383802　口座名/（公財）柏崎地域国際化協会（こうざい　かしわざきちいきこくさいかきょうかい）

〇ゆうちょ銀行振替　00530-2-39284　口座名/（公財）柏崎地域国際化協会

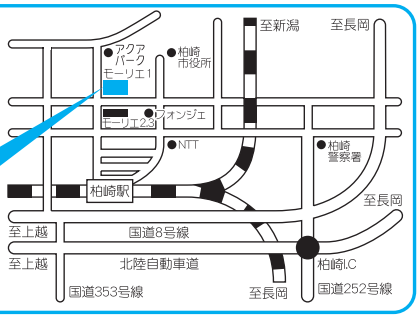
〔他金融機関から振込の場合　ゆうちょ銀行　0五九支店　当座　0039284〕

協会ＭＡＰ

お気軽にお越しください

市民プラザ2F

（公財）柏崎地域国際化協会



お問い合わせ　（公財）柏崎地域国際化協会

TEL&FAX　0257-32-1477
E-mail　kaia2006@kisnet.or.jp
受付時間　平日9:00～17:00（年末年始、お盆休みを除く）
http://www.kisnet.or.jp/~kokusai/

（公財）柏崎地域国際化協会ニュース第31号　2019年3月発行
編集・発行/（公財）柏崎地域国際化協会
監修/柏崎市産業振興部商業観光課　印刷/アザミデザイン